

波動分科会 (URSI-H小委員会)

太陽地球惑星系科学シミュレーション分科会

日時: 10月17日(火)昼休み

アジェンダ(敬称略):

12:55～13:20 波動分科会 (URSI-H小委員会)

- ・URSI分科会関係
- ・平成29年度の研究会予定
- ・平成30年度の研究会、役員体制

13:20～13:50 シミュレーション分科会

- ・STEシミュレーション研究会の開催報告 (三宅洋平)
- ・リコネクション研究会の案内 (銭谷誠司)
- ・第二回PSTEPモデル研究会の開催案内 (塩田・中溝・今田・吉田・埜)
- ・三学会合同セッション@物理学会年会春季大会 (松本洋介他)
- ・その他

第19回太陽地球惑星系科学 シミュレーション分科会

2017/10/17

SGEPSS秋学会2017

京都大学 宇治キャンパス

目次

- STEシミュレーション研究会の開催報告 三宅洋平
- 10/20 のリコネクション研究会の案内 銭谷誠司
- PSTEPモデル研究会(第2回)の開催案内 中溝・塩田・今田・吉田・埜
- 三学会合同セッション@物理学会年会春季大会 松本洋介
- その他

開催報告：STEシミュレーション研究会

～太陽地球惑星系複合システムのシミュレーション研究～

* ISEE研究集会・神戸大学CPS/ECCSE共催

- 本年度のSTEシミュレーション研究会は以下のように開催されました。

日時：平成29年9月6日(水)～9月8日(金)

場所：神戸大学統合研究拠点・惑星科学研究センター(CPS)・セミナー室

- 惑星形成計算、火星大気・ダストデビル、金星大気、惑星大気・惑星プラズマ計算に関する招待講演をいただきました。
- 宇宙プラズマ・磁気圏・電離圏環境シミュレーション研究の最新成果報告の他、次世代スパコン向け高性能計算手法や新数値解法についての議論も行われました。
- 3日間で21件の発表及び、合計55名の参加がありました。
- 研究会参加者向けに講演資料および講演録画が、Webページ（CPSアーカイブシステム利用）に公開されています。

URL) <http://cidas.isee.nagoya-u.ac.jp/simulation/meeting2017/>

UJI Reconnection Workshop 2017

- 10/20 (金) 9:30-17:30 リコネクション研究会 @秋学会C会場 (HW401)
- 主催：銭谷誠司 (京大生存研) 河村聡人 (京大花山)
宇佐見俊介 (核融合研) 太陽圏物理研究会
- 企画テーマ：太陽圏リコネクション観測の現状
 - 原田裕己さん@アイオワ : MAVENの火星リコネクション観測
 - 下条圭美さん@国立天文台：太陽フレアの電波観測
 - 成影典之さん@国立天文台：フレア加速粒子のX線観測と次期ミッション計画
- 参加予定：29名
- 飛び入り聴講も歓迎します。

PSTEP研究集会「太陽地球圏環境予測のためのモデル研究の展望」1/2

第1回会合の概要 <http://www.pstep.jp/news/20170201.html>

開催日: 2017年1月26-27日

場所: 名古屋大学

主催: 新学術領域研究 太陽地球圏環境圏予測(PSTEP)、名古屋大学ISEE研究集会

中心的テーマ: 太陽フレア・太陽風、電離圏、磁気圏(リングカレント・GIC)、気候影響、衛星帯電、データ同化、モデル評価、国際共同検討、など

Key講演21件、ポスター11件、参加者72名



PSTEP研究集会「太陽地球圏環境予測のためのモデル研究の展望」2/2

第2回会合開催について

候補日：2018/2/13-14、2/26-27のどちらかで調整中

場所：名古屋大学

主催：新学術領域研究 太陽地球環境圏予測(PSTEP)、名古屋大学ISEE研究集会

今回中心的に扱うテーマ：

- ・2017年9月初旬のAR12673での太陽活動にともなう現象について
→シミュレーションおよび観測双方
- ・長期変化(太陽ダイナモ、気候、など)
- ・放射線帯

日にち等が確定しましたら、案内を周知させていただきます。
皆様のご参加をお待ちしています。

三学会合同セッション@ 物理学会年会春季大会

SGEPSS世話人

松本洋介、松清修一、中村匡、杉山徹

開催内容(予定)

- <http://www.jps.or.jp/activities/meetings/index.php>
- 2018年3月22日(木)ー3月25日(日)、於 東京理科大学野田キャンパス
- 招待講演はシンポジウム形式で、各学会から2名ずつ選出
 - SGEPSS
 - 塩川 和夫氏(名古屋大学、あらせ衛星・地上観測網による地球磁気圏・電離圏物理の最前線)
 - 吉岡 和夫氏(東京大学、ひさき衛星観測による惑星磁気圏物理学の最前線)
 - 天文学会
 - 當真 賢二氏(東北大学、一般相対論効果が絡む宇宙プラズマ過程-ブラックホール磁気圏でのBlandford-Znajek過程)
 - 鳥海 森氏(国立天文台、黒点形成やフレア発生におけるプラズマ過程)
 - 物理学会
 - 成行 泰裕氏(富山大学、太陽風プラズマ中の圧縮性乱流の性質)
 - 稲垣 滋氏(九州大学、実験室磁化プラズマにおける乱流によるプラズマの磁力線方向加速)
- 一般講演についても募集案内予定
- その他、プラズマに関するシンポジウム2件提案予定(三学会とは別企画)